

第4章 観光まちづくりの基本的な考え方

～人々の心を豊かにし、まちの活力を高める～

1 観光まちづくりの目標

人々の心を豊かにし、まちの活力を高める

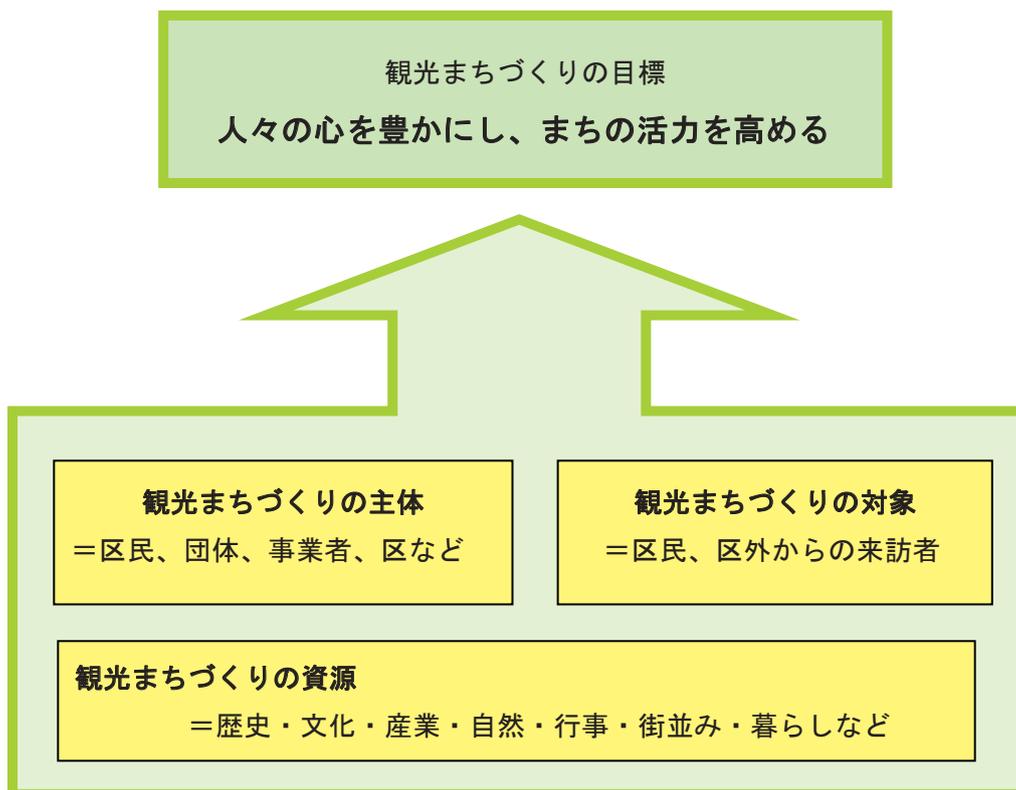
－これが目黒区の観光まちづくりの目標です。

区民、団体、事業者、区それぞれの連携、協力の下、地域のあらゆる観光資源を最大限活用し、区民相互、あるいは、区民と来訪者相互の交流を振興することによって「人々の心を豊かにし、まちの活力を高める」、これが目黒区の観光まちづくりが目指すものです。

区民にとっての「住みたいまち、住み続けたいまち」を維持しながら、区外から訪れる人々にとって、目黒区が親しみやすいまち、記憶に残るまち、また訪れたいまちとなることを目黒区の観光と捉えています。

観光まちづくりの推進にあたっては、そのきっかけや持続性も重要となります。

区民同士や区民と来訪者が交流や体験を通して人々の間に生まれるコミュニケーションを大切にし、そこから派生する人々のつながりや温もりが感じられる「おもてなしマインドづくり」に取り組んでいく必要があります。



2 観光まちづくりの基本的視点

目黒区の観光まちづくりは、次の5つの視点を基本にして進めます。

<基本的視点>

- (1) 観光まちづくりについての認識を区民が共有する。
- (2) 目標及び施策体系を明らかにする。
- (3) 観光関係団体との役割分担の明確化とともに連携・協力の推進体制をつくる。
- (4) 観光関係団体との情報の一元化を図る。
- (5) 情報発信手段の多様化を図る。

3 観光まちづくりの推進

目黒区において、観光まちづくりを効果的に推進していくためには、目黒区に関わる多様な人々が一体となって、区独自の歴史、文化、自然、産業、行事、食などの地域資源を生かした、まち歩きを楽しみをも高めるための仕掛けづくりを進めていくことが必要です。また、区と観光関係団体との情報の一元化を図り、民間の活力も十分に活用しながら、継続的に情報収集していく仕組みも必要です。

目黒区の観光を通して、区民同士、区民と来訪者など、多様な人々が一体となって新たな目黒区の観光資源を発掘し、観光振興を図ることにより「ふれあいと活力あるまち」の実現を目指します。

また、目黒区産業振興ビジョンとの整合性をもって推進していきます。



大橋ジャンクションと
目黒天空庭園



中目黒夏まつり